

にぎわい

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

～ 九州発信 ～

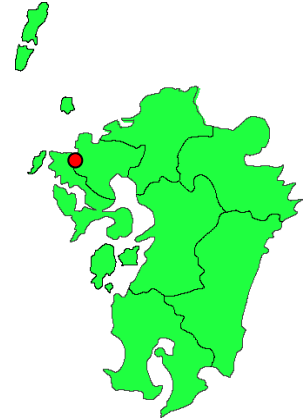
会員だより(松浦市)

～ 松浦おさかなまつり ～

松浦市が昭和54年に開設した地方卸売市場松浦魚市場は、アジ、サバの水揚げ日本一を誇っております。その松浦魚市場を会場として毎年秋に魚食普及等を目的とした市主催の「松浦おさかなまつり」を開催しており、毎年九州西域各地から多くの方に来場いただいております。



マグロ解体実演試食の風景



今年は10月4日(土)のAM9:00からマグロ解体、鮮魚即売、魚のせり市、魚のつかみどり等を行う予定ですので皆様のご来場をお待ちいたしております。



魚のつかみどり

また、その魚市場の隣には、買荷保管積込所(通称「おさかなドーム」)が平成15年3月20日に完成しました。この「お



おさかなドーム

さかなドーム」は、近年、食への安心、安全に関心が高まるなか高度衛生化(HACCP)に対応すべく整備いたしました。更に、現在水揚げの効率化を図るため浮棧橋の整備を計画しております。

会員だより(福岡市)

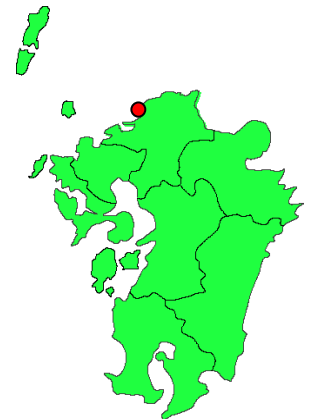
～ 博多港アイランドシティに“ツル”が出現！？～

福岡市の21世紀における新しい港づくり・まちづくりのため、整備を進めているアイランドシティ地区において、外貿コンテナターミナル1バースを9月1日に供用開始します。

今回供用開始するコンテナターミナルは、施設面積約15ha(福岡ドームの約4個分)、水深-14m、岸壁延長は330mの1バースで5万トン級



ガントリークレーン



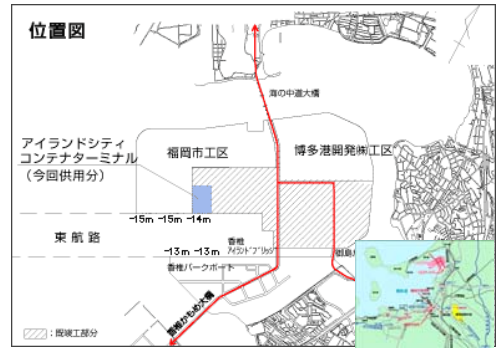
のコンテナ船に対応でき、九州最大級の規模を誇ります。この大水深のコンテナターミナルの荷役施設として、高さ約101m、アウトリーチ（ブームの長さ）約50mの九州では最大のコンテナクレーンが3基登場しました。（6段18列の巨大コンテナ船に対応）

この、コンテナクレーンは100メートルを超える大規模な施設であることから、色彩については、アイランドシティ周辺の自然環境との調和に配慮するとともに、港に先進性と活力を表現する暖かみのある白色を基調色とし



海から見たガントリークレーン

ています。また、アクセントカラーとして、頭や足部にポイントとなる赤色を、腰部に締まりのあるダークグレーを配色しています。ちなみに、ちょっとした豆知識ですが、クレーンとは「ツル」という意味があるのはご存じですか？このコンテナクレーンは見ても分かるように、その姿、色合いから、アイランドシティに降り立ったまさに「ツル」をイメージすることができます。



博多 ICCT 位置図

平成15年度総会 レポート

～ 平成15年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会 ～



総会の様子

7月30日（木）、新潟市の複合コンベンション施設「朱鷺メッセ」において、「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」平成15年度総会が開催されました。

開催にあたりネットワークの代表を務める篠田新潟市長が「これからの地域づくりは地域間の連携が重要。連携により日本海側の存在感を大いに発信し、日本海側全体の発展を図っていくために、このネットワークが大きな力を発揮できることを期待する」と挨拶を行いました。

総会では、会員間の情報交換・研究のため講演会の開催や通信誌の発行に加え、ホームページの拡充などを行うとする15年度の事業計画などを決めました。またネットワーク設立10周年となる来年度の総会開催地として山形県酒田市が決定しました。

総会終了後は一般公開され、前新潟市長（平成7年～平成14年まで「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」代表）の長谷川義明氏と越後国の歴史や文化を研究する民間学習グループ「古志の会」代表、亀川純一氏による講演会が開催されました。

長谷川氏は「日本海の沿岸交流について考える」と題し「日



篠田新潟市長

本各地の遺跡から発掘される糸魚川のスイ、古事記に記されたスサノオの命の逸話での出雲と新潟の交流、更に約1200年前の対岸に栄えた渤海国との日本海を挟んだ交流や江戸時代以降の北前船による地域間交流等古くから日本海沿岸の各地域は海路による交流が盛んであったことを紹介されました。

また、亀川氏は「北前船が運んだ民謡『ハイヤ節』『おけさ節』と題し、江戸時代以降、北前船の活躍により人や物だけではなく歌も各地に運んで行ったとし、「熊本県天草が発祥の地と思われる『牛深ハイヤ節』が、北前船とともに日本各地へ運ばれ、それが地域により独自のハイヤ節に変わっていた様子」を音声を交えながら紹介されました。

講演会の後に懇親会を開催し、会員相互の親睦を深め、翌日現地見学会を行い全ての日程を終了しました。

総会の様子は北陸地方整備局 HP (<http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/>)にも掲載されておりますので、ご覧下さい。



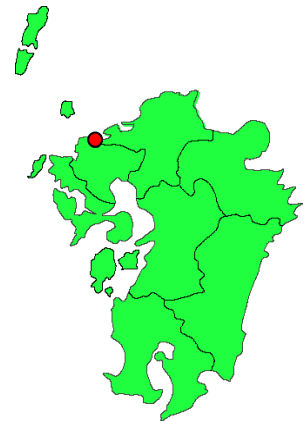
講演会に耳を傾ける聴講者

レポート(唐津港湾事務所)

～ 美しい海岸を次代に引き継ぎ育もう ～

『遠い昔から、豊かな恵みを与えてきた海や川や山をはじめとするかけがえのないふるさとの自然を次代に引き継ぎ育むのは、現代に生きる私たちの使命でもあり責任でもあります。この素晴らしい自然を共有する私たちが、美しい海岸を守ることを目的に清掃活動を行います。』

(ラブアース・クリーンアップ2003実施要領の目的より抜粋)



ラブアースクリーンアップ in 唐津

平成4年5月に開かれた「ローマクラブ福岡会議 in 九州」を契機に、同会議のテーマである“地球環境と地域行動”を実践するため、市民、企業、行政の三者が協力して、海岸、河川、山なみ等の地球環境美化推進活動が実施されています。この「ラブアース・クリーンアップ」の一環である唐津市の海岸一斉清掃(全6カ所)が、海水浴シーズンを目前に控えた6月8日(日)に開催されました。

この活動に参加された唐津市民の方々は、老人クラブ、ボーイスカウト、青年会議所、婦人連絡協議会、身体障害者福祉協会・・・など、老若男女、合わせてその数なんと6,440人、当局唐津港湾事務所からも子供を含めて20名が参加させてもらい、10.2トンものゴミが回収されました。

『全国でも名高く、美しい海岸を保有する唐津市民の環境美化意識の高さにあらためて、感動、額に汗した1時間でした。』(参加者談)

また、『ラブアース・クリーンアップ』は九州、山口、さらには釜山広域市(韓国)など各地で同じ日に実施され、平成14年度は、544,203人の人が参加し、1,582トンのごみが回収されたそうです。

この活動をさらに全国に広げるため、地域リーダーなどを下記HPにて募集していますので、興味がある方は、一度覗かれてみてはいかがでしょうか? (<http://love-earth-jp.net/index.html>)



クリーンアップ中

編集・問い合わせ先 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局
九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 TEL 0832-24-4126
担当:那須、島田 FAX 0832-24-4137